

続・鳥の話

たまに、「今の時期だと見所はなんですか？」と聞かれます。見所とは、「見るべきところ。見る価値のあるところ」だそうです。

この公園のコンセプトは里山。それぞれが価値を見出して、思い思いに楽しんでいただけたら…と思います。

私のお勧めは「凍った御所沼(の氷割!)」と「風のない日の日向ぼっこ」そして、林や水辺の鳥の観察です。今回は林の鳥をご紹介します。

とにかくかわいい! ことりたち



エナガ(柄長)
(L14 cm W16 cm)
林の中で暮らし、出ること
は少ない。昆虫や樹液
を食料にする。



シジュウカラ(四十雀)
(L15cm W22cm)
胸に黒いネクタイを締
めている。秋冬は地上で
エサを探す。



シメ(鴿)
(L19cm W31cm)
太い嘴で木の実を割っ
て食べる。亜寒帯域から
渡来。明るい林に生息。



ジョウビタキ(尉鶺)
(L15 cm W22 cm)
サハリンなどから渡来。
農耕地や明るい林のヘ
リなど、開けた場所に。

森に響くドラミング キツツキ



ヤマガラ(山雀)
(L14cm W22cm)
主に林の上層で生活。ガ
の幼虫などを食べるが、
秋冬は木の実も食べる。



アオゲラ(緑啄木鳥)
(L29 cm W49 cm)
主に昆虫や幼虫を食べ
るが、秋冬はカキその他
の木の実もよく食べる。



アカゲラ(赤啄木鳥)
(L24 cm W39 cm)
1秒間に18~22回程度
木を叩く。縄張り主張の
意味があるらしい。



コゲラ(小啄木鳥)
(L15 cm W27 cm)
秋冬はシジュウカラ類
の群れと一緒にいるこ
ともある。